

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	就業改善センター管理運営費				
担 当 課 係 名	農 林 課		政策調整 係	作成者	草薨 博美
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち			総合計画の ページ
	基本計画	特色ある農業の振興			
	主要施策	営農体制の整備			62
予 算 費 目	一般 会計	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	6 目 農業施設費	
事 業 期 間	平成 17 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市農林業振興施設条例、同施設管理規則				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市民に農林施設の提供
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	農林業の振興を図り、市政の産業及び社会の開発並びに市民の健康及び福祉の増進に寄与する。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	市民が気持ちよく使用できるよう施設の維持管理業務を実施する。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	開館総時間数	目標	h	4,846	4,860	4,846	
			実績	h	4,846	4,860	4,846	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	利用者数	目標	人	14,575	12,761	13,692	
			実績	人	14,575	12,761	13,692	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				6,123	6,346	6,562	
	人 件 費 (B)		—		785	807	793	
	職 員 数		—		0.10	0.10	0.10	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				6,908	7,153	7,355	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他				762	1,027	1,244
		一 般 財 源				6,146	6,126	6,111
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		1,426	1,472	1,518
市民1人当たりのコスト(円)		—		217	228	237		

【事務事業の今までの成果】

施設管理を徹底し市民に気持ちよく使用していただいている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	特になし
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	要望、苦情等ありません。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	施設の管理について当直勤務を廃止し改善を行っている。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	地域における公民館的役割も有しており必要な施設ですが、事業費は増加傾向にあり、効率的な維持管理を行うため更なる見直しが必要です。

